

照明設備ご利用にあたっての注意事項とお願い

当劇場はすべての機材の設置・撤去および操作は、主催者または主催者が手配した専門業者の方に行っていただいております。

劇場照明担当者は常駐しておりません。

「公共劇場（指定管理者が常駐する施設）」または「小劇場（グリッドに脚立で仕込むような施設）」のいずれかでしかチーフ経験のない方は、必ず事前に下見を行ってください。

また、ご利用が初めての方、しばらくご利用のない方も下見を行ってください。

【1】提出書類について

- ・照明仕込み図の提出は劇場入りの**2週間前**が期限です。
- ・期限までの提出が難しい場合は、必ず**2週間前**までにお電話にてご相談ください。
- ・仕込み図未提出の場合、照明の仕込みが行えないことがありますのでご協力をお願いいたします。

【2】電源・使用容量について

- ・1回路**15A**以内でのご利用をお願いいたします。
- ・電気総使用量が**200A**付近を超えると、ブレーカーが作動する可能性があります。本劇場は単相3線式ですが「400A計算」ではなく、「**200A**以内」でのご利用をお願いいたします。
- ・フル点灯や多数のチャンネルを同時に点灯させてのチェックはご遠慮ください。
- ・劇場内のブレーカーよりも先に、建物全体のキュービクル（東京電力から引き込まれている電源元）のブレーカーが作動することがあります。この場合、関東電気保安協会や建物管理者による確認作業が必要となり、復旧まで2～3時間以上かかる可能性があります。

【3】調光回路・調光卓の操作について

1回路**15A**が上限です。絶対に超えないようお願いいたします。超過すると重大なトラブルにつながる可能性があります。

- ・舞台下手に12chユニット×4台（計48ch）設置されていますが、【舞台下手ユニット】でご利用可能な回路は36回路分までです。全ディマーをフル使用せず、余裕を持った設計をお願いいたします。最下段のユニット（アドレス97～）は「SUSボタンへの立ち上げマルチ専用」です。他用途での使用はできません。
- ・使用可能な常設調光回路は「**CL・SUS・舞台下手ユニット・調整室ユニット・客電**」のみです。その他の回路はご使用いただけません。
- ・ユニットへの入れ込み前に【直回路】で点灯チェックをお願いいたします。
- ・持ち込み卓のDMXケーブルの抜き差しは、必ず卓やスプリッタの電源をOFFにした状態で行ってください。（誤信号による全点灯防止のため）
- ・卓の移動時など、DMXケーブルの抜き差しを行う際は、必ず劇場スタッフの立ち合いのもとをお願いいたします。
- ・全点灯・全チャンネルの同時チェックはご遠慮ください。特に、しょんぼり等であっても、【**全点灯操作**】は行わないようご注意ください。
- ・データ作成時も回路容量にご配慮ください。

【4】持ち込み機材・直電源機材の利用について

- ・LED、ムービングライト、スモーク等の直電源機材、ならびに灯入れや電飾などの機材は、必ず漏電遮断器付きケーブルを通してご利用いただきますようお願いいたします。
- ・灯入れや加工した機材は完成品としてお持ち込みいただきますようお願いいたします。
- ・漏電遮断器付きケーブル（平行口15A対応）は劇場で8本在庫しております。
- ・持ち込み機材は、事前に漏電チェックや不具合確認を済ませたうえでお持ち込みいただきますようお願いいたします。
- ・分電盤からの直接の電源取得は禁止です（資格の有無にかかわらず）。カムロック等の指定された直電源回路をご利用いただきますようお願いいたします。

【5】スモークマシン使用に関するお願い

- ・スモークマシンは、水溶性のもののみ使用可能です。
- ・その他、使用条件がございますので、事前に舞台事務所までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

【6】安全管理・トラブル対応について

- ・万一ブレーカーや漏電警報器が作動した場合、電気保安協会または建物管理者が安全確認を行います。復旧には3時間以上を要することがあります。ご協力をお願いいたします。
 - ・スタンド・ステージ置き機材には転倒防止のため、シズまたはウエイト袋をご利用いただきますようお願いいたします。
 - ・劇場には照明技術スタッフは常駐しておりません。NG機材の修理や交換はメーカーまたは専門業者での対応となるため、即時復旧はできません。余裕のあるプランニングをお願いいたします。
 - ・機材の在庫や設備状況は随時変動します。最新情報は劇場ホームページ「照明設備」ページをご参照ください。
- ・直前の変更はホームページに反映されない場合がありますので、必ず事前確認と下見をお願いいたします。
- ・機材・設備は原状優先とします。

【7】制限事項・最新情報

- ・調整室のガラス越しでの投光はできません。投光は、上手・下手の窓部分からのみ行ってください。ソースフォーであれば、各側2～3台まで投光可能です。

【8】その他

- ・バトンの昇降は手動カウンターウエイト式（綱元）です。経験と知識のある方を手配してください。
- ・バラシ終了時には機材・ケーブル等の備品チェックを行い、チェックリストをご記入のうえ立会スタッフの確認をお受けください。

【9】下見について

- ・当劇場をご利用になるのが初めての方は、必ず下見を行ってください。
- ・下見が可能な日程は限られております。できるだけ早めにご連絡・ご相談をお願いいたします。

安全で円滑な劇場運営のため、ご利用者様すべてのご理解とご協力をお願い申し上げます。
不明点などございましたら、お気軽に舞台事務所までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

ブディストホール事務所
03-3248-0798
info@buddhisthall.com